

会 議 録

作成月日	令和3年8月18日(金)	作成者職・氏名	まちづくり政策課 鈴木
会議名称	令和3年度第1回 大和町総合計画審議会		
開催日時	令和3年8月5日(木)14:00～16:12		
開催場所	大和町役場3階 301会議室		
出席者	<p>○大和町総合計画審議会委員 13名(別添名簿参照)</p> <p>○事務局:大和町まちづくり政策課 課長 江本 篤夫、参事 武田 力也、課長補佐 早坂 基、 係長 鈴木 達也、主任 長崎 美里</p> <p>○町関係者:副町長 浅野 喜高</p> <p>○コンサル業者:ランドブレイン株式会社 所長 黒川 朋広、主任 佐瀬 征利 (合計22名)</p>		
議 事	<p>別添次第のとおり</p> <p>○大和町第五次総合計画基本構想(素案)について</p>		
	司会進行:大和町まちづくり政策課 江本課長		
	1 開 会		
	2 開会の挨拶		
鈴木会長	<p>皆さまこんにちは。お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日の会議ですが、ご案内のとおり総合計画の基本構想の素案についてです。</p> <p>先立ちまして送付された会議資料に目を通させていただいた率直な感想としましては、肝心の我々が審議をしたいと思っていた「まちの将来像」が未完ということで、どのような審議になるのかという思いがありました。</p> <p>大きく時代が変わろうとする中での総合計画の作成です。皆さまの頭の中に将来の大和町の姿が浮かんで来たでしょうか。</p> <p>今日の時間、提示された資料を基に忌憚のない意見を頂戴しながら会議を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>		
浅野副町長	<p>皆さま大変ご苦勞様でございます。本来であれば町長からご挨拶を申し上げるべきところでございますが、本日は他の会議に出席しておりますので、代わってご挨拶させていただきます。</p> <p>本日は令和3年度第1回総合計画審議会にお集りいただきまして誠にありがとうございます。また皆さま方には日頃からまちづくりの推進に高いご理解とご協力をいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。</p> <p>冒頭に、七十七銀行吉岡支店長 高橋 様に総合計画審議会委員の委嘱状を代理でお渡しさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>最近、コロナ感染症が日々増えている状況でございます。全国的に1万人を超え</p>		

	<p>る感染者が出ており感染が広がっている状況でありますし、更には県内におきましても徐々に増えている状況でございまして、なかなか収束が見えない状況でございませす。</p> <p>やはり感染対策としてワクチン接種が有効と言われておりまして、本町におきましては65歳以上の方が約6,820人おりますが、そのうち1回目接種終わった方が昨日現在で約90%でございまして、2回目におきましては約88%の方が終わっているということで、これも黒川医師会の方々のご協力により、高齢者の方につきましては順調に接種が進んでいるものと受け止めております。</p> <p>また12歳以上につきましては昨日現在で1回目終わった方が約44%、2回目終わった方が34%となっております、今後、計画的に、黒川医師会のご協力いただきながら進めて参りたいと思っております。</p> <p>是非、皆さま方にも引き続きコロナ対策をしっかりと共に、最近猛暑が続いておりますので、健康には十分留意をしていただきたいと思います。</p> <p>さて、町では昨年度より大和町第五次総合計画の作成を進めており、本日は昨年に協議いただきました総合計画の骨子に基づいて、基本構想の素案を作成しました。本日はこの基本構想の素案について、皆さまのご忌憚のないご意見を賜ればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	3 委員及び町職員紹介
	4 議 事
	(1)大和町第五次総合計画基本構想(素案)について 資料1～3 説明:事務局 鈴木
事務局 (鈴木)	<p>本日、ご欠席の吉岡児童館長の阿部委員から、事前に意見を頂戴しておりましたので、ご紹介させていただきます。</p> <p>阿部委員からの意見としましては、基本方針の「(2)一人ひとりが健やかに育ち暮らせるまちづくり」について、「子どもの育ちに“遊び”はとても大切です。安全に、安心して遊べる場所の整備は重要だと思います。中高生の居場所づくり、中高生が仲間と安心して過ごせる場所の整備も必要と思います。子どもたちが育ちの中で、ワクワクや、ドキドキや、楽しかった思い出がたくさんあれば、親になったとき子ども時代に楽しかった大和町で子育てしたいと考えるのではと思います。令和2年度第2回審議会の時に平岡先生が発言された子ども目線の子育ちについて、もう少し具体的な表現が組み込まれてもいいのではないかと思います」という意見でした。</p> <p>事務局としましては、基本方針にて「健やかな育ち学べる環境を整備」と大まかな表現で記載し、具体的な内容については、今後基本計画を検討していく上で検討していきたいと考えております。</p>
鈴木会長	ただ今事務局から説明がありましたが、皆さまからの意見については、第1編「序論」と第2編「基本方針」の2つに分けて伺いたいと思います。
	質 疑

木皿委員	<p>送っていただいた資料に目を通させていただきました。序論の中で文章はいろいろ書いてあって、基本的にはいいと思うのですが、言葉の並べ方とか、他のページとの整合性とか、そういったところをもう少し練った方がいいのかなと思われました。</p> <p>例えば、2ページ「1. 計画の趣旨」に「地域人口及び各校児童数の偏り」とあり、最初見るとおかしくないと思うのですが、14ページ「4. 教育・文化・学習」では、「地域により児童数に偏り」という表現になっています。どちらかという和学校間の児童数の偏りのことを言っていることと思うので、表現を合わせた方がいいと思います。</p> <p>また、2ページ「2. 計画の位置付けと役割」について「町民・事業者のみなさんと行政がまちづくりに共に歩む方向性」と記載されていますが、これは歩み方の方向性ではなく、まちづくりの方向性だと思いますので、言葉の前後を取り替えるなど工夫した方がいいと思います。</p> <p>あとは、3ページ「(4) 町の特色を捉えた計画策定」について「アンケート結果などの各種調査結果の分析」とありますが、アンケート結果などと言ったら各種調査結果まで言わなくてもいいような感じがします。丁寧すぎるというか、例えば、アンケートの集計結果などの調査結果の分析とするなど、もう少し表現を検討された方がいいと思います。</p> <p>最後に、5ページに「本町を取り巻く社会情勢の変化など」と記載されていますが、「など」にはどういったことが含まれるのか、説明願います。</p>
鈴木会長	<p>1点目は表現の方法についてのご意見だと思いますので、今後検討してもらえればと思います。2点目の「など」について説明願います。</p>
事務局 (江本)	<p>表現や言い回しなどについては、ご指摘を踏まえ事務局で再考させていただきます。</p> <p>また、ご質問いただきました「社会情勢の変化など」ですが、これはいわゆる社会一般の変化だけではなく、本町に対しての情勢の変化などを総称して「など」と表現としております。</p>
木皿委員	<p>社会情勢の変化に経済を追加し、社会経済情勢としてはいかがですか。若しくは「など」に含まれるという解釈でよろしいですか。</p>
事務局 (江本)	<p>経済も含めて「など」という表現にさせていただきたいと思います。</p>
鈴木会長	<p>6ページの「第2章 本町をとりまく現況」で時代の潮流や課題など整理されていますので、そういった全体を含めての「など」だと思います。</p> <p>その他にありませんか。</p>
若生委員	<p>本日の審議会ですが、あまりにも欠席者が多いと思います。事前に委員の日程調整をされていると思いますが、過半数を超えているからいいということではなく、これでは問題があるのではないかなと思います。</p> <p>また、思いつきで申し訳ないのですが、最近、白石市、蔵王町、七ヶ宿町の刈田総合病院の関係がかなり話題になっております。そういった問題や人口減少、あ</p>

	<p>るいは生活保護者が急増しているという話もあるなか、国の予算が新型コロナウイルス感染症の対策などに充てられており、非常に厳しい世の中ではないかと私は見ております。</p> <p>人口減少が今後も推移するなか、去年の11月4日の加美町の新聞にも公共施設を4割減らすとあります。中新田町と宮崎町と小野田町が合併して加美町になり、合併当初は良かったかもしれませんが、負もかなりあると思います。</p> <p>それを大和町に置き換えてみますと、大和町でも負があると思います。そして学校の格差や鶴巢、落合、吉田、宮床などの環境もありますので、将来目標人口30,000人としていますが、将来、必ず人口が減少し、高齢化することが目に見えています。私は今の地区に住んで25年くらいになりますけれども、高齢化がどんどん進んでおり、アパートに住んでいる方などは子どもがいますけれども、ほとんど2人暮らしとかそういう状況になっています。</p> <p>この基本構想は素晴らしいものですが、金銭に結びつけて考えてみると、身の丈にあった財政的な内容がこの基本構想には記載されておりません。一見バラ色みたいな基本構想ですが、私たちのような年長者は先を見て心配するところがありますので、長い視点で捉える必要があると思います。</p>
鈴木会長	<p>町としての問題意識、今後まちづくりをするにあたっての課題をどう捉え、どう解決していくかというあたりのご発言だと思います。</p> <p>事務局から回答があればよろしくお願い致します。</p>
事務局 (江本)	<p>出席者数についてのご指摘、大変重く受け止めているところでございます。開催にあたり日程調整をお願いしたところでしたが、どうしても都合がつかない方がいらしたということもあまして、その点は今後開催に向けた設定の仕方を再考していきたいと考えております。</p> <p>また、将来に向けた考え方についていい面だけに焦点を当てているのではないかと、というご指摘につきましては、基本構想では行財政の課題として若干ふれていますが、ひっ迫した表現ではなく、民間資本の活用や効率的な行政運営、健全な財政運営等という表現で示しております。</p> <p>個別、具体的な各地区の人口の格差や施設の管理計画については、今後基本計画や実施計画を作成する中で検討していくこととしております。</p>
鈴木会長	<p>多岐にわたったご指摘なので、課題の整理やそれに対応する施策の展開、施策の方向性、例えば、公共施設の整備の仕方や地域による人口の格差とかという話がありましたが、それ一つにしてもまちづくりの方向性として今後さまざまな機能を集約しながらまちづくりを進めていくのか、あるいは均衡ある地域の発展とうことで、本当にバラバラに分散させていくか、という大きく2つの方向性があると思います。そこはまさにまちづくりの方向性として、しっかり議論して進めていくべきだと思います。</p>
平岡会長 職務代理	<p>2ページの「第1章 計画策定の背景」のところの「3. 計画策定の考え方」が(1)から(4)まででございます。計画をどのように策定するかというプロセスが書いてあります</p>

	<p>が、例えばこの辺り(5)に入れるかどうかは置いておくとして、町民の人たちが“この総合計画は役所が勝手に作った”“俺たちには関係ない”となりやすいので、総合計画の本当の役割として“これは町の皆さまと一緒にやることですよ”と、まずは町内に対してのメッセージを示してはどうでしょうか。</p> <p>プロセスを説明するだけでなく、策定した後にどう使ってほしいのかもここに示すべきと考えます。具体的なアクションプランのようなものを今後示すかどうか分かりませんが、総合計画の大事なコンセプトだと思います。</p> <p>したがって、町に関わる人たちは具体的にどのようなアクションに関わることが出来るのか、どのように関われる計画策定を目指すのか、という内容を書いてもいいのではないかと思います。</p> <p>また町外に対しては、大和町がどのような町を目指すのか、というメッセージ性が必要だと思います。例えば富谷市には、とにかく人口を増やす、というメッセージがあります。作るプロセスだけではなくて、作った後にこれはどういう意味を持つのか、という説明があってもいいのではないかと思います。</p>
<p>事務局 (江本)</p>	<p>「3. 計画策定の考え方」について、策定する上での考え方を記載させていただきました。策定後に皆さまが利用するうえで、利用の仕方についても記載を、というご意見をいただきました。利用される町民の方々にどのようにしていってもらいたい、という期待感も込めて、記載できるような工夫を今後考えていきたいと考えております。</p> <p>また町外の方に対するメッセージということで、これはいわゆる将来像に近いところになってくると思っております。ある程度、基本計画を踏まえて今後将来像を策定していきますので、町の将来像をより具体的にできるように考えていきたいと思っております。</p>
<p>平岡会長 職務代理</p>	<p>確かに、ここに計画のメッセージを載せなくても、総合計画を町外の人が読めば大和町の将来像を想像できるかと思います。この総合計画が町民の人たちにとってどのような意味を持つのか、というところを書いていただけたらいいと思います。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>ここ数年、幼稚園や保育園の人手不足が非常に大きな問題になっております。このような状況の中で、子育てというのは町で重要な役割を担うと思っております。採用説明会で仙台まで行き、説明しても、“大和町はどこにあるのか”“どのようなところなのか”という声が多く聞こえます。富谷市の場合、“あそこですね”“あそこだったら行きたいです”といった声が多いです。</p> <p>うちは単身の職員が多いのですが、結婚をすると大和町に住まず、富谷市や泉区に移り、そこに住居を構えて通う職員が多いです。そのような意味で、大和町の将来像や魅力あるまちづくりなどのメッセージ性を、若い人たちにアピールすることがとても大事だと思います。やはり若い人が大和町に住まないと、町は活性化せず、人手不足にも繋がってきます。</p> <p>色々な意味で衰退していくと思っておりますので、その辺のところを、もう少し強く出せるよう、まちづくりの構想をしていただきたいと思います。</p>

<p>事務局 (江本)</p>	<p>現状、町としても子育て支援を充実させ、施策を講じておりますが、やはり人手不足という現状があります。</p> <p>また大和町という場所をなかなかイメージできない、というご指摘について、私共としてはその点についても隣の市に負けないくらい、すぐ思い出せるようなものというものを将来像として作っていかねばならないと思っております。そういったご意見を踏まえながら、将来像に向けた策定を今後考えていきます。</p>
<p>文屋委員</p>	<p>資料2の中に「自然環境」「豊かな自然資源」という語句が大変多く使われております。農業をやっている者として、自然や環境保全等の表現を多く使っていただいたことに対して、まずは感謝を申し上げたいと思っております。</p> <p>まず1点気になったのですが、「まちづくりの課題【自然・環境・生活】」で、「乱開発による自然破壊の抑止と適切な環境保全」という表現がありますが、現状で、具体的に乱開発が見受けられた上でのこの表現なのでしょうか。</p> <p>次に私ども農業委員会の中でも、農地転用に係り、再生可能エネルギーのソーラーを設置する場面が大変多くなってきております。自然と調和の取れた農業をやっていく中で、果たしてそういったものはどうか、という意見も出ております。しかし、これは法律の中で、県知事の許可を受けなければ止めることができないという現状です。そういったことに対して、課題としては大変結構でございますが、これを抑止する手段は後々議論して打ち出していただけのかなという考えでございます。そちらの方も追い追い考えていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (江本)</p>	<p>課題の中で入れている「乱開発」という表現ですが、あくまでも許可を得た開発が殆どだと思います。</p> <p>この乱開発という表現につきましては、なかなか難しい表現で、具体的に許可を得ずに開発をしているところがあるのかというと、そういったところではなく、通常許可されているところですので、再度、表現を工夫していきたいと思っております。</p>
<p>手代木 委員</p>	<p>事前に送っていただいた資料に目を通させていただいて、感じたことをお話しさせていただきます。まず読ませていただいて、特に「第2章 時代の潮流」に入ると、随分言葉が難しいと感じました。下に全て注釈が付けられていますが、読み手として、一般の庶民の方々を想定しているのか、どういった方々を想定しているのでしょうか。私には分かりづらいところがありました。できるだけ平易な表現で書いていただけると、読みたくなるのではないかと思います。それが1点です。</p> <p>それから2点目は、10ページに「各種アンケート実施の概要」で表にまとめてありますが、それを見ると中学生が94.8%であり、殆どの生徒が今回のアンケートに回答しています。実は先日、小学校にも別のまちづくり政策課から依頼されたアンケートがありました。子どもたちは、そういったアンケート依頼があると、自分たちの町を考えると非常に前向きに考えています。そして私も目を通させてもらおうと、本当に自分の住んでいる町に、誇りというか愛着を持って生活しているということが、よく分かりました。</p>

	<p>アンケートをとることは、とてもいいことだと思います。一方、とりっぱなしだと、子どもたちの意欲や意識は非常に低くなるように思います。昨年度、この94.8%回答した中学生は、まさにこれから大和町を背負っていく子どもたちではないかな、と考えたときに、例えば中学生の意見が“このように反映されている”というところが、一つでも二つでも見えるような計画にさせていただけると、非常にまちづくりの主体的に取り組んでいく子どもたちを育てることができるのではないかな、と感じました。</p> <p>最後に、資料2の「まちづくりの課題」にも関りますが、「社会の変化に対応した教育内容の検討」ということを最初の課題にあげられています。先程の「時代の潮流」と同様、非常に社会情勢も動いていますし、ICT教育というのも随分言われています。そういったことも意識されて、教育内容を考えなくてはならない、という町のお考えだとは思いますが。</p> <p>しかし一方、教育委員会では、子どもたちに生き抜く力を、どんなに時代が変化しても逞しく生き抜く力、豊かな心を育てたい、ということをお大和町の基本方針として出されています。そういったことを考えた時に、何をしなければならないのか、ということをもう少し強いメッセージとして、教育委員会と一緒に町から発信させていただくと、我々もこれを見て“こういう子どもを育てたい”ということをより強く持てるのではないかなと思いました。</p>
事務局 (江本)	<p>まず6ページ、確かに横文字、色々な表現、下の注釈だけでもかなりの数があります。できるだけ分かりやすい表現にしたいところですが、使用されている文言が元々そういったものであるということもごさいます。</p> <p>いま国の方で使っている表現をそのまま使用するのではなく、分かりやすい表現など工夫をしていきたいと思ひます。</p> <p>また、約100%近くの回答をいただいている中学生のアンケート結果の反映について、基本計画から実施計画等でどういったところが反映できるかどうか、庁内の中で検討していきたいと考えております。</p> <p>最後の、教育委員会の方針としております「生き抜く力」ということで、必ずしも「社会の変化に対応した教育内容の検討」だけではなく、個々の生徒の生き抜く力も身に着けさせる工夫もあるのではないかというご意見もいただきました。教育委員会とも相談し、より具体的な表現方法ができるかどうか、検討していきたいと考えております。</p>
鈴木会長	<p>内容については、ただ確認するだけではなく、作業段階から教育委員会も入って検討して出しているという理解でよろしいですか。</p>
事務局 (江本)	<p>庁内の策定委員会やPPTなど、色々なところで教育委員会の職員も入り検討しております。ただ、ご指摘いただいた内容を再度、教育委員会とも話をしながら、表現方法について再考していきたいと思ひます。</p>
高橋(壽) 委員	<p>まず、商業関係の立場としまして、令和2年度第1回、第2回に出された案に対し、私どもの方でご意見申し上げました、後継者の問題や創業に関して、今回の基本構想にも入れてくださり、大変ありがとうございました。</p>

	<p>それと、個人的に子どもを育ててみて、子育てというのは小さい頃は地域に依存しますが、やはり高校生・大学生になると、交通の便が悪いというところが大和町の非常な弱点になります。</p> <p>こちらのアンケートでも重要性や弱点だということは町でも認めています。しかし、自動車を持っている方はいいのですが、交通弱者であるお年寄り、あるいは免許のない方、あとは中高生の移動手段がものすごく薄いのに、交通環境に対する意見がこの計画の方にあまり盛り込まれていません。</p> <p>私は子どもを仙台の学校に通わせたのですが、その時どうしても部活をするとなると通えない、通うともものすごく体力的に大変であり、部活も学業も中途半端になるということで、下宿をさせました。</p> <p>距離的な地域格差はやむを得ませんので、そういったことを改善するために、具体的には難しいと思うのですが、町として補助をする等の政策を盛り込んでいただきたいと思います。</p> <p>そうすれば小さい時から、高校・大学まで大和町で一貫して子育てでき、大和町に就職してもらえれば、定着する住民が増えると思いました。是非、交通インフラについてもっと考えていただきたいです。</p>
鈴木会長	<p>本日は、基本構想の素案ということですので、ただいまのご意見については後程、個別の施策のところでは反映できるところは、検討していただければと思います。</p> <p>私の方からもいくつか申し上げたいと思います。まずは4ページ「計画の構成及び期間」のところ、基本構想、基本計画、実施計画それぞれに計画期間が書いてありますが、そもそも総合計画というのは10年間で、前期5年、後期5年でやるものということ、冒頭に整理・記述すれば、後のところの説明は不要ではありませんか。</p> <p>また、基本構想、基本計画を同じように進めていくのはいいと思いますが、実施計画については、まったく性格が違うので同様に扱うべきではないと考えます。ましてや毎年個別の事業を評価し、見直していくということになると、前期5年、後期5年というものも意味がなくなりますし、現場に卸したときに、そういった管理の仕方、計画の作り方は難しいのではないかと思います。私からの提案は、実施計画は別物と捉え、3年なり5年なりの計画をたて、それを1年ごとにローリングして行って10年間管理していくというやり方です。是非、ご検討していただきたい。</p> <p>それから13ページの「まちづくりの課題」についてです。「1. 農林・商工・観光」のところ、「担い手の不足、既存商店街の活性化などが課題とされています」と記載されていますが、「課題とされています」という表現はあまりにも他人事のように見えます。商店街の人たちからすると“なにを今更「課題とされている」という程度の認識しかないのか”という捉え方をされかねません。</p> <p>全体的に「必要があります」や「求められます」、また14ページでは「重要です」や「取り組む必要があります」といった表現になっていますが、第四次総合計画では「課題になっています」とはっきり言っています。課題として整理するのであれば、「求めら</p>

れているから〇〇が課題になっている」ということでないと、おさまりが悪いので、課題の認識として、表現の仕方をもっと工夫していただきたい。

また、13ページの「3. 子育て・保健・福祉」で「新たな枠組みでの施策や取り組みを検討する必要があります」とありますが、ここで何を表現したいのかがわかりません。子育てと医療福祉との連携はもう古くから言われている話であり、実際そういった施策も進められています。この期に及んで「取り組みを検討する必要があります」というのはあまりにも問題意識として低い。しっかりとした認識をもって、“これまで進めてきた結果、こういう課題がまだ残っています”という表現にするべきだと思います。

14ページの「4. 教育・文化・学習」でも「教育内容の検討が課題になっています」との記載になっており、問題意識、課題意識が低いです。何をできて何が課題になっているのか、課題意識をもって教育現場としては取り組み、施策を進めていると思うので、そういうところをきっちり見直して欲しいです。

それから、本日関係課長が欠席なので、事務局からの回答は難しいと思いますが、「一方で、学校については、町内においても地域により児童数に偏りが生じているため、地域による教育に差が生じないための対策を講じる必要があります」との記載があります。ここは非常に大きな課題、問題を含んでいるものだと思います。それで私が聞きたかったのは、「教育の差」について、具体的にどういうことを念頭においてここに記述しているのか、それがはっきりしていなければ、施策の検討もしようがないと思います。

あとは、「教育の差」が生じないための対策をとる必要があるとあるが、現実にもそういう差が既に生じているのか、それとも将来生じることが心配だと言いたいのか、そこもはっきりした認識をもって課題を整理しないとわからないことになってしまうと思います。

落合地区については、小学校の学区の見直しがされ、子育て支援住宅も整備されました。生徒の数の推移についての変数がなくなりつつあり、確実な推計が可能になってきている。他の地区も含め、これから5年、10年後どうなっていくのか、それを評価し、検討していく必要があるのではないかと。

それから、これは提案になりますが、課題の整理や項目が抜けてはいないか、と思っています。特に、情報の部分で技術の革新とか情報化社会という項目がありますが、デジタル化が当然のことながら今後どんどん進んでいくわけですので、デジタル化への対応というのも、大きな項目の課題として整理しておく必要があると思いました。

それから先程、若生委員の話にもありましたが、人口減少と少子高齢化についても大きな項目として課題として整理しておく必要があると思います。いずれにしてもデジタル化とか、人口減少、少子高齢化は全てのまちづくりの施策の根幹、根底にある課題ですので、しっかりと整理をしていった方がいいと思います。

事務局

ご意見のとおりですので、課題の抽出を受けての表現の仕方を重く受け止め、検

<p>(江本)</p>	<p>討させていたきたいと思ひます。</p> <p>またそれ以外にも、「教育の差」などについて、大和町の現状や取り組み方等を理解しての表現なのかというご指摘もいただきました。今後、策定委員会やPPT等で検討させていただき、表現方法等について事務局でまとめていたきたいと思ひます。</p>
<p>高橋(理) 委員</p>	<p>今回、委嘱されたばかりで基本構想に至る素案を作成する経緯とか、分からない部分がありますが、発言させていただきます。</p> <p>鈴木会長からお話がありましたDXですが、行政の司令塔となるデジタル庁が9月に創設されることもあり、まさに時代の潮流、コロナ禍で見直され、進んでいるところだと思います。このDXについては、私も是非課題認識をもって整理をした方がいいと思ひておりました。</p> <p>また、今後の検討、意見ということでお話をしたいと思ひのですが、7ページにSDGsについての記載があります。今どこに行ってもSDGs、テレビでもマスメディアでも、小・中学校でも大学でもSDGsが取り上げられており、若い人でも当たり前のように知っています。</p> <p>そのような中で、このSDGsは、やはりしっかりと各施策の中に取り込んでいくべきで、実施計画とか具体策を決めていく過程でマッピングしていく必要があると思ひます。各課題をマッピングしていき、2030年の目標達成に向け、大和町も取り組んでいくというメッセージを組み入れていった方がいいと思ひます。</p> <p>昨年の7月、仙台市と石巻市がSDGsの未来都市に選定されています。その前にも県内では東松島市が先行してSDGsの未来都市になっています。大和町もSDGsの未来都市を目指してもいいのではありませんか。これだけ自然が豊かという広告にもなりますし、SDGsの中にグリーンでしたり、海、山という項目あるので、そういったメッセージ性を今後出していったらいいのではないかとと思ひます。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>確かに、いま高橋委員からご提案のあったSDGsのまちづくりですが、そういったものへの野心的な取り組みが、まだ出ていないと思ひます。</p> <p>そういう要望もありますが、事務局どうですか。</p>
<p>事務局 (江本)</p>	<p>SDGsを基本計画、実施計画等々に盛り込んでいく方向で、編成の仕方を今考えているところですが、ご提案いただきました、未来都市宣言ということですが、県内では市のみであり、町でそういった宣言をされたところはまだない状況です。</p> <p>そういったご意見も、本日は副町長も出席してございますので、町としても認識をしながら、検討させていたきたいと思ひます。</p>
<p>平岡会長 職務代理</p>	<p>「第4章 まちづくりの課題」は、資料3の骨子の中央「施策分野別にみる大和町の概況」の主要課題とリンクしています。6つの分野がありますが、一番右の7つ目の「その他・共通」のところの書きようが難しかったと思ひます。</p> <p>まさに、人口減少、内外の交流の機会がどうなっているか、大和町のイメージやブランドにまつわる情報発信や自治の話など、この中にSDGsやDXが、共通の課題としてあると思ひます。</p>

	<p>「第4章 まちづくりの課題」の書き方として、施策分野ごとの6項目はこれで残しておき、大和町として取り組むべき「共通課題」として一通り出しておいた方がいいかと思われました。その後6つの施策を書く形で、骨子の7つ目の項目である「その他・共通」が書ききれていないと思われましたので、工夫していただければと思います。</p>
鈴木会長	<p>将来像がまだできておらず、なかなか議論しにくいのですが、将来像については引き続き具体的な検討を重ねながら、書き上げていくことになります。</p> <p>私の方からもう一つ、16ページの「まちの将来像」の最後の段落について、「共に歩み、すべてのひとが幸福と発展を実感できるまちづくりに挑戦し、将来的にも元気でにぎわいのあるまちづくりと夢と希望があふれる「みんなのふるさと大和町」を実現するため」というところですが、よく読むと理解できないところがあります。</p> <p>それから「みんなのふるさと大和町」は、総合計画の理念・キャッチフレーズのようなものですか。</p>
事務局 (江本)	<p>「まちの将来像」で表記させていただきましたが、こちらご指摘いただいている通り、現段階で将来像を示すことができておりません。したがってキャッチフレーズが無い場合、確定的な表記がなかなか難しいところです。</p> <p>将来像が固まらない以上、今後若干の変更があるというところで、今現状でお示しできるように作りましたが、将来像が決まってくるとこの表現の仕方も多少の変更が出てくる予定です。</p>
鈴木会長	<p>質問した3行については、まだ確定ではないという理解でよろしいですか。計画をつくると、キャッチフレーズ・理念というのは、ずっとどこでも使われることになるわけですので、ここを町長、副町長としっかり意見交換し、すり合わせて吟味していただきたいと思えます。</p> <p>あと19ページ中段のところ、「本町の未来を担う子どもたちが大和町に生きる気概と誇りを抱いて」とあります。誇りというのはわかりますが、この「大和町に生きる気概」というのをどう理解すべきなのか。生まれ育ったこの大和町で将来もずっとここで頑張っていくという事なのか。恐らくそうではなく、教育現場ではグローバルに活躍できる子どもを育てていこうと考えているのではないかと思います。</p> <p>「大和町に生きる気概」とはどのような概念なのか、疑問がわきますし、どういう教育をするのが大事なところだと思います。</p>
事務局 (江本)	<p>こちらについては事務局として町長選挙の際に「大和町に生きる気概と誇りを子どもたちに」というキャッチフレーズがございましたので、それを踏まえて記載させていただきました。</p>
鈴木会長	<p>それは町長と教育委員会でその中身について共通理解をもっているのですか。この基本構想は、我々が審議をして、これから議会にも説明し、町民の皆さまにも説明していくということになります。</p>
事務局 (江本)	<p>基本構想については、作成の段階で教育委員会にも示しており、この内容については特段のご指摘等はなかったところでした。</p>

鈴木会長	<p>全般の話になりますけれども、我々の議論も作成過程の内部の議論と言ってもいいかもしれない。その後議会で説明し、町民の皆さまにも説明することとなります。</p> <p>外に出る資料については、全般的に相当慎重に検討して、一字一句読み込んでほしいと思います。これは一つの例ですが、“ここで生きる気概ってなんですか”と聞かれた時に、皆が同じようなレベルで答えられるくらいにまでしておいた上で資料を作っていたきたい。</p>
木皿委員	<p>今の生きる気概というところについて、やり取りを聞いていて思ったのですが、もしかしたら文科省で社会の変化に対応する教育の在り方ということで、こういった表現をしています。例えば「子どもたちに必要な力で、社会が変化しようとも自分で課題を見つけ、自ら学び自ら考え」というのがあるのですが、こういったことを一括りにして気概と表現されたのではないのでしょうか。</p>
鈴木会長	<p>先ほど手代木委員の発言で、生き抜く力とか強い心とかを育てるとありましたが、大変必要なことで、県教育委員会でもそこは強く押し出していると思います。</p> <p>ただ、ここで言っているのは「大和町に生きる気概」ですので、大和町に限るわけですので、そこは整理して表現した方がいいと思います。</p>
平岡会長 職務代理	<p>確かにこの文章を読むと、町で子どもを囲い込むような印象が強く感じます。ここで育てば生き抜く力がつき、ここで育てば誇りを持つし、もしかしたら外に出るかもしれないけれども、ここで育った誇りがあれば、「鮭」のように戻ってくるかもしれない。そうした書き方にすると、ここで子育てするというのはいいかもかもしれません。ここで育てば、この町の未来を担わせるというニュアンスが強くなりすぎるとよくないと思います。</p>
山腰委員	<p>19ページで「子育て・医療・保健・福祉などのサービスを身近に安定して受けられるためのサービスの充実を図るとともに提供体制や基盤の整備を推進します」とありますが、基盤の整備とは一体どのようなことをお考えなのでしょう。</p> <p>今後、この資料を町民の皆さまにお見せした場合、これだけ難しい言葉で書いてあると理解できないと思います。子どもたちにも教えていくのであれば、やはり子どもたちにもわかるような言葉に置き換えた資料も必要になってくると思います。</p> <p>また、SDGsの一つのジェンダーに関して思うのですが、私の子どもに対してトランスジェンダーの話をする、気持ち悪いって言われたことがあります。</p> <p>今後、学校の教育でしたり、あるいは町としてそういうことをきちんと整備していった方がいいと思いました。この社会において子どもたちにトランスジェンダーとかLGBTとか、そういうのを気持ち悪いという印象を持つのではなく、現代に合わせて対応していく、大人も説明できるようになっていくべきですし、そういうことを大和町としてもやっていくべきだと思います。</p> <p>トランスジェンダーの子どもが増えてきている以上、隠して生きていけないといけないというのは相当つらいですし、打ち明けても受け入れられることが少ない状況です。ご検討いただけたらと思います。</p>
木皿委員	<p>文章を表現するときにピリオドを打って書いているのですが、1字空かせるなど別</p>

	の形の表現も検討していただきたいと思います。あと、続けて「おり」「おり」とかが続かないようにするとか、細かいところですが、表現のご検討をお願いしたいと思います。
松川委員	西暦だけではなく、和暦も併記していただきたいと思います。和暦と西暦との兼ね合いがわからなくなってくることがありますので、できれば併記していただくとわかりやすいと思っております。ご検討いただければと思います。
鈴木会長	対応できるところは対応していただくということでよろしく申し上げます。それでは審議はこれで終わりにしたいと思います。副町長から何かご感想でもありましたらお願いします。
副町長	本日、委員の皆さまから貴重なご意見をいただきまして感謝申し上げます。皆さまからいただいた貴重なご意見を参考にさせていただきながら、更なる町の発展のために邁進していく所存でございますので、今後ともご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 本日は大変ありがとうございました。
鈴木会長	それでは、議事を終了とし、事務局にお返ししたいと思います。
事務局 (江本)	本日は大変ありがとうございました。皆さま方からいただいたご意見、大変感謝申し上げます。それでは、「5 その他」でございますが、事務局より3点程ご説明をさせていただきます。
	5 その他 資料4、5 説明:事務局 鈴木
鈴木会長	お伺いしたいのですが、日程が非常にタイトなのですが、本日の審議会で様々な意見があり、今日の資料の修正が必要な箇所もあると思います。早速12日に議会の全員協議会ですが、12日ですと1週間後となります。本日の審議会の意見を反映して修正をした上で議会に提出し、説明するのか、それともこのままの資料で説明するのか、それを確認したい。 そして、その上で住民説明会まで走っていくわけですが、第2回目の審議会が11月ということで、ここでは基本計画の素案の審議となりますが、そうすると我々は基本構想の最終案、最後の姿はどこで見て、どこで意見を言って議論ができるのですか。 事務局にとって日程がタイトなのをわかったうえでの質問なのですが、ただ最終案に目を通さないで、基本計画だけを議論するという話はなかなか審議会の存在意義に係る話なので、問題だと思います。 少なくとも大筋の日程が崩せないのであれば、11月上旬頃に開かれる基本計画の素案の時に、その前段で基本構想の最終案を説明してもらって我々が意見を言える場面を作れるのか、幸い、基本構想と基本計画は一体だと言っているのもそういう会議の進め方であったとしても審議会で受け入れられるかと思えます。
事務局 (江本)	来週の議会全員協議会では、今回お示した基本構想の素案でご説明をさせていただきます。ご指摘いただいた部分等を修正したものをお示しする機会として

	<p>は11月の第2回審議会の「(2)大和町第五次総合計画基本計画(素案)について」の前にご説明を申し上げたいと思います。</p> <p>こちら記載しておらず、大変申し訳ございませんでした。</p>
鈴木会長	<p>言ったことがそのまま反映されていなければ駄目だというものではありません。ここで自由に発言をさせていただいて、それを持ち帰ってしっかり皆さまが議論をして、“こういう意見があったけど、これはこういうことだからこのように対応しました”ということであればそれでいいです。</p> <p>それによって審議会委員の皆さまが理解すればそれでいいと思います。ただこういうことはきちんとやっていただいた方がいいと思います。若干時間オーバーしましたけれども、他に意見がある場合には、意見書を記載して提出するというところでよろしくお願ひしたいと思います。</p>
事務局 (江本)	<p>それでは委員の皆さまから、たくさんのご意見をいただきまして大変ありがとうございました。それでは閉会の挨拶につきまして平岡会長職務代理にお願いしたいと思います。</p>
	<p>6 閉会の挨拶</p>
平岡会長 職務代理	<p>委員の皆さま方、長時間に渡りましてご議論いただきましてありがとうございました。色々なご意見を頂戴致しまして本当に感謝致します。</p> <p>本審議会にあたり、県内の他市町がどのような将来像を掲げているか調べてみました。</p> <p>7市町のまちの「将来像」について紹介</p> <p>大和町第四次総合計画では、「豊かな自然と共生し、輝く未来に向けて躍進するみやぎの中核都市・大和 ～活力と笑顔に満ちたまちをめざして～」と掲げております。</p> <p>第五次総合計画では、今後作成を進める上で将来像を決定することですので、検討の参考になればと思います。</p> <p>今年度の第1回ということでご議論いただきましたけれど、かなりスケジュールがタイトな状況だということだと思われまますので、ぜひ委員の皆さまにおかれましてはご協力をいただきますようお願いしたいと思います。</p> <p>それでは本日は長時間に渡りましてどうもありがとうございました。ご挨拶は以上でございます。</p>
	<p>7 閉 会</p>
事務局 (江本)	<p>それでは、以上を持ちまして令和3年度第1回大和町総合計画審議会を閉会させていただきます。本日は大変ありがとうございました。</p>

以上

上記のとおり相違ないことを証するためここに署名いたします。

議事録署名委員

大和町総合計画審議会 会長： 鈴木 隆一

大和町総合計画審議会 会長職務代理： 平岡 善浩